

シダックス(株)

天使のメールBOXキャンペーン  
 アフリカの栄養失調の子らへの基金

「One Wish for one Meal」。

天使のメールBOXに、あなたの「ひとつの願いごと」と名前、住所を書き投函してください。シダックスがあなたに代わり「マザーフード基金」を通じ、UNHCR(国連難民高等弁務事務所)に栄養強化補助食品1パックにつき50円を寄付します。

願いごとを書いて下さったあなたには森雪之丞さんの詩「ART OF HEART」に、ミック・イタヤさんの絵「星とハートの天使」を添えた素敵なカードをプレゼントします。

**栄養強化補助食品** 栄養失調の子どもたちに支給されるビタミンを強化したミルク配合のピーナッツバター(1パック50Kカロリー)。ピーナッツベースに砂糖、植物性脂肪、スキムミルク、ビタミン、ミネラルが配合されており、調理の必要がない。

また、シダックスは、今年1月まで「チャリティー活動「One Wish for One Meal」ひとつの願いごとのほか、全国のグループ計310店舗が支援活動に参加、幅広く展開した。願いごとが書かれたメッセージカードを店に設置してある「天使のメ

天使のメールBOXから栄養失調のアフリカの子らを救っている



「メールBOX」投函してもらうと一通につきシダックスが国連UNHCR協会へ50円の寄付を実施、栄養強化補助食品を提供する。やはり投函していただいた人には同じポストカードを郵送。

グループの参加店舗はレストランカラオケ・シダックス、スペシヤルティーレストラン、レトルダムールグランメゾン白金、シダックスカルチャービレッジなど。

森トラストグループ

防災・環境への取り組みに高い評価  
 震災発生後、人的物的の多角支援

森トラストグループの防災・環境への取り組みが各方面で高い評価を

受けている。

東日本大震災では、仙台市をはじめ、東北一帯で大きな被害を出した森トラストグループは、従来からの防災への取り組みが奏功、防災への取り組みの有効性が実証された。震災直後には東北電力管内で広範囲で停電も発生したが、グループは速やかに非常用発電機を発動させ、電気を供給した。

■グリッド型BCPの実践

震災直後から「グリッド型BCP」を稼働、被災地の情報・被災者ニーズを共有、人的、物的支援を即座に行うことが出来た。

■帰宅困難者・被災者の受け入れ



東日本大震災当日の様子(仙台トラストタワー)

震災直後から仙台トラストシティをはじめ、多くの施設で帰宅困難者を受け入れ、備蓄品、情報、携帯電話を充電スペースを確保・提供するなど、さまざまな支援を行った。「グッド型BCP」を活用することで、被災地情報や被災者ニーズを共有、帰宅困難者、被災者を受け入れた。

## （株）丸井グループ

### 循環型ファッションの取り組みに大賞

#### 省資源、廃棄物削減に努力

（株）丸井グループ（本社東京）は、「第11回エコプロダクツ大賞」で、「エコサービス部門エコプロダクツ大賞（リユーマ）」で省資源・廃棄物削減に寄与している点が評価された。

「環境負荷の低減に配慮したすぐれた部品・サービス」への受賞で、今回の受賞は丸井グループが環境・社会貢献活動のなかで「循環型ファッション」の一連の取り組みが「ま」として評価された。

## 山崎製パン（株）

### パン一斤で1円の復興支援

#### 活動期間を今年中まで延期

山崎製パン株式会社は同社の食パン「モーニングスター」の売り上げから1斤について1円を東日本大震災被災地の復興のための支援金とし

て寄付する活動を平成23年10月から実施している。

この寄付金は被災地で復興支援活動を行っている民間の国際協力団体「公益財団法人国際開発救済財団」に寄付。寄付対象期間を、平成26年9月までとしていたが1年間延長、27年9月30日まで継続する。

## キリンビールマーケティング（株）

### 宮城県のブランド再生支援

#### 漁業組合などに全力応援

キリンビールマーケティング（株）は宮城県石巻市の「宮城県漁業協同組合」にたいし「宮城県産殻付き牡蠣ブランドینگプロジェクト」への支援金として日本財団の協力のもと、2700万円を助成した。

この助成はキリングループで展開している「復興応援キリン絆プロジェクト」の一環として被災地の水産業復興に向け、水産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援や将来に向けて担い手、リーダーの育成を行う。今回は震災によって大きな被害を

山崎製パンは、独自の技術によって小麦本来の味わいを生かしたソフトでキメ細かいしっとりとした食感のパンが特徴。おいしさはもちろん値ごろ感にもこだわった。製品名の「モーニングスター」は「明けの明星（金星）」を意味し、日本の光り輝く未来を願っての命名。

受けた「宮城県産牡蠣」のブランド再生、育成と販売の強化をはかるため、「宮城県漁業協同組合」が宮城県牡蠣生産者、水産加工会社その他流通各社などと連携をはかりながら取り組む「宮城県殻付き牡蠣ブランドینگプロジェクト」にたいする助成。同プロジェクトはまず「三陸唐桑もれ牡蠣、長面浦牡蠣、鳴瀬牡蠣」を中心としたブランド展開をはかり、販路拡大にも積極的に取り組み、今年1月には首都圏での「牡蠣小屋」などでのブランドPR活動も行った。

今回の助成金は宮城県漁業協同組合が取り組む宮城県産殻付き牡蠣のブランド育成、PR、販促プロモーション、情報発信などに活用される。

キリングループは、東日本大震災の復興支援活動として2011年に「復興支援、キリン絆プロジェクト」を立ち上げた。これまでの3年間で約60億円を拠出、「絆を育む」をテーマに「地域食文化、食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元氣サポート」の3つの絆でグループ各社が一体となって展開してきた。

今回は3つの絆の一つ「地域食文化、食産業の復興支援」として実施。復興に貢献への思いからキリングループの中でもキリンビール社が中心

となり、食に携わる企業として、生産から食卓までの支援」をテーマに農業や水産に対する地域のニーズに合った活動を今後引き続き継続する。

水産については、復興第1ステージとして震災後から2012まで水産業の中でも「養殖業の復興」に取り組んだ。岩手県はワカメ、宮城県はカキ、福島県は青のりを中心に養殖再開に向けた養殖施設の復旧支援被災3県での支援額は4億2220万円に。2013年からは第2ステージとして「生産から食卓まで」のテーマに生産支援だけではなく、水産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援、将来にわたる担い手・リーダー育成支援などを展開、助成をおこなう。

## 大成建設(株)

### ダクトキャッピングシステムで受賞 エネルギー使用量の削減にも貢献

大成建設(株)は「ダクトキャッピング空調システム」で、このほどエコプロダクツ大賞推進協のエコプロダクツ推進協会長賞(優秀賞)を受賞

した。「空調システム」はすでにデータセンターへの実施適用を開始しており「段ボールダクト」によりサ

ーバーラック上部から冷気を吹き出すモジュールを構築することでIT機器への給気効率を向上させることが出来る。

システムの次の点を評価された。

#### ■材料の循環利用

同システムに用いるダクトキャッピング材には古紙リサイクル率が99%と高い循環利用率の、段ボールを採用。ダクトに使用する段ボールはアルミニウム箔をラミネートして一体成型しており、一般的な銅板製ダクトと同等の性格を有している。

#### ■エネルギー使用量の削減

一般的なサーバー室の空調方式は「吹き出し空調プラス、コールドアイル(冷気ゾーン)、ホットアイル(暖気ゾーン)方式」だったが、この方式はラック上部が開放されているため、冷気と暖気が混合し空調効率のロスが発生させてきた。「ダクトキャッピング空調システム」はサーバーラックの上部に設置したダクトにより冷気の吹き出しの封じ込めを行い、ラック上部への暖気の回り込みを完全にセパレート、分離することで、空調効率をこれまでより20%向上させることが可能になる。

## 日立造船

### 津波観測に衛星利用測位システム 津波早期発見の新鋭兵器

日立造船はGPS(衛星利用測位システム)を使った津波観測で、これまでの1.5倍遠い沖合に設けた海洋ブイで感知したデータを送受信できるシステムを開発した。

現在、陸上では有線経由のため通信が途絶える心配があったが、新システムは全て無線で送受信が可能

津波の早期発見が期待され、同造船で実用化に向け実験を重ねる。

現在のGPS海洋ブイは平成16年に同造船が開発、18年に国交省が導入し日本近海に配備されている。

しかし、沖合20\*がブイ設置の限界だが、同造船が開発した新システムは30\*まで範囲が拡大、昨年から



津波発生の早期発見するGPS観測実験ブイ

和歌山県田辺市沖で実証実験を行い、問題なくデータを送受信できることを確認した。

津波発生地点の海底の地形や深度で違いはあるものの、早期発見と警報、避難に大いに貢献できるという。同造船は今年3月まで実験を続け、精度・システムが安定的に機能するかなどを確認する。

## 損害保険ジャパン日本興亜(株)

### 発電事業者向け特約商品を展開

#### エコサービズ部門で環境大臣賞

損害保険ジャパン日本興亜(株)は風力発電事業者向けの火災保険「事故再発防止費用特約」でエコプロダクツ大賞・エコサービズ部門環境大臣賞を受賞。

温室ガスの排出量が少ないエネルギー源として再生可能エネルギーへの期待が高まっており、太陽光発電の他、風力発電の普及が急がれている。その一方で、風力発電設備は事故が発生すると損害が高額になるほか、同種の事故が続いて発生する傾

向があり、風力発電事業経営の課題となっていた。

損害保険ジャパン日本興亜が開発した風力発電事業者向け火災保険「事故再発防止費用特約」は、火災、落雷、風災などの事故にたいして支払う通常の保険金に加え、事故発生後の再発防止費用にかかる保険金(事故原因調査費用、再発防止点検費用)を支払うのが特長。

今回の受賞は、同商品の提供を通じて事故の再発防止をはかることが

でき、風力発電事業の安定経営および風力発電量の増加に寄与することが評価された。

#### ■今後に向けて

損害保険ジャパン日本興亜は、この商

品の提供を通じて風力発電事業の安定経営を支援するとともに、再生可能エネルギーのさらなる普及を促進し、持続可能な社会の実現に貢献していく。

## エバラ食品工業(株)

### 常勤スタッフを派遣、応援

#### 「じわつとくる」温かさ提供

エバラ食品工業(株)は、震災の直後から、被災地の状況が刻々と変わるなか、「息の長い復興支援活動」を展開、なかでも「みちのく未来基金」の方針に賛同、取り組んできた。

復興支援については、社員一人一人が身近かに感じ、「ずっと忘れないうでいて欲しい」の思いで常勤スタッフの派遣を決定。

「こころ、はずむ おいしさ」の団らんを大切に、みんなで思いや空間を共有すること、触れることで感じられる「じわつとくる温かさ」を支援とともに伝えていきたい」の考えを貫いてきた。

そのためには、被災者に寄り添い、一緒に感じたり考えたりすることが

#### 肝要と判断

そうした経験をした社員が増えていくことがイコール息の長い支援が出来る、としている。

基金については2014年3月現在、震災で両親が死亡または行方不明となった孤児は241人。内訳は宮城県126人、岩手県94人、福島県21人となっている。

こうした東日本大震災の遺児・孤児の救済に設立されたのが企業らの手になる「みちのく未来基金」。大卒や短大、専門学校に進んだ遺児・孤児に返済不要の支援。

このほか、エバラ食品工業は、地元放送局との支援、炊き出し活動など幅広い活動を展開してきた。



都路の魅力を紹介したカレンダー

## リコージャパン(株) 福島・都路のコミュニティ支援 活動をカレンダーで集約

リコージャパン(株)は、社員が構成する「RICOH JAPAN Volunteer Team」による東日本大震災の復興支援活動として、福島県田村市都路(みやこじ)地区のコミュニティ活性化などを目的に昨年12月18日から20日間にわたり同地域で支援活動を実施。

田村市都路地区東部は2014年4月に福島第一原発の20\*圏内で初めて避難指示が解除された地域。田村市から委託を受けて都路地区の自立再生を支援する特定非営利活動法人コースターとともに2014年7月から12月まで4回にわたって地域住民と自然、行事、食文化を介した交流を通じコミュニティの再生を支援した。

第1回は人と自然の魅力発掘のため都路を探索、第2回は地域の文化

継承として祭りなど行事を支援、第3回は都路地区の食の魅力伝承を目的に郷土料理の記録、そして第4回はこれまで撮りためた写真をもとに仮設住宅を会場に写真展を開催。パソコン教室ではクリスマスや正月飾りの制作。全体の活動のまとめとしてこれまでの活動で見出した都路地区の魅力をまとめたカレンダーを復

興応援隊と共同で作成、全世帯に配布した。

リコージャパンは、このチームを活動の核として宮城県石巻市でも計15回にわたり漁業活動の支援を中心に活動、岩手、宮城、福島三県の産業復興を応援する物産展を計11回開催。今後も社員による復興支援活動を続けていく。

## 清水建設(株)

### 「シミズ・ドリーム」構想

#### 巨大海底都市づくり

清水建設は人類がやがて直面するであろう食糧不足や気候変動を最新技術で解決する画期的な都市づくりのアイデアを世界に向けて発信している。

「シミズ・ドリーム」構想で、なかでも昨春秋に打ち出した「オーシヤンスパイラル」は、豊かな資源が埋もれている深海を都市基盤に——という斬新なもので、国内外の研究機関などで反響を呼んでいる。

オーシヤンスパイラルは、海面付近に浮かぶ直径500mの球体にホ

テルやオフィス、住宅を備えるという拡大な構想。球体と海底3千〜4千mのレアアースなどの開発工場をらせん状の輸送機関て結び、人や電気、資源を交流させる。高さ4千mのビルを水中に建設するというとてもなく巨大なものだ。構想では、海水の温度差発電、深海の温度と栄養を生かす世界初の沖合養殖漁業、二酸化炭素を海底メタン生成菌でメタンガスに転換する設備など、最新技術の活用を想定、食糧やエネルギー問題への答えがあるという。